

## 子どもたちにもっと自然体験をさせたい

人生50年を越えると1年がアツという間に過ぎる感じで、今年も妙高の楽しく厳しい冬が眼の前に来ています。

妙高は、何といつても「雪」です。昨シーズンも積雪は3メートルを超え、私も雪かきを頑張り過ぎて「ぎっくり腰」になりました。自然の家では平成8年に「子どもの雪上活動の手引き 雪を遊ぶ」雪は天からの贈り物滑って転んでワイワイいきいき！」をまとめています。そこにはスキー以外の雪上活動の楽しさや素晴らしさを満喫できる様々な活動プログラムが紹介されています。

「雪」は、どんな形にも、大きさにもなりませんし、小さければ綺麗な結晶が見ることができます。そして、「雪」は白いで、いろいろな色の光を当てるとその色になり、幻想的で魅力的な世界を創りだします。「雪」の上で転んでも、泥で服が汚れたりしません。子どもたちは「雪」が降りしきり大雪になり少しぐらい吹雪いているような場面ほど生き生きしています。

この他にも、子どもたちに少年自然の家で体験、実感させたいことがあります。

『いろいろな色の緑を見る。』

『自然の良い匂い、良い肌触り、良い眺めを感じる。』

『美しい水、林、森、空は、残そうと思う。』

『友達は良いなと思う。』

『大きな声を出し、泣いて、そして笑う。』

『星を見て、宇宙は広い、大きい、綺麗だと思っけど、それを想える人間の頭や心のほうが広い、大きい、美しいと思う。』などです。

やっぱり、今年も「Open the Door」の私の表題は、「子どもたちにもっと自然体験をさせたい」になってしまいました。

平成20年11月

所長 三上 智



『秋の紅葉の時期も、春も夏も、冬に負けない活動プログラムを用意しておりますので御利用をお待ち申し上げます。』

### トピックス

#### 妙高市との連携・協力に関する協定

平成20年10月31日に妙高市と、これまで培ってきた信頼関係と連携・協力の実績を基盤に、より一層、緊密かつ組織的な連携・協力体制の充実を図り、地域社会の発展に寄与することを目的に協定を締結しました。



#### 上越教育大学との連携・協力に関する協定

平成20年2月15日に上越教育大学と、これまで培ってきた信頼関係と連携・協力の実績を基盤に、より一層、緊密かつ組織的な連携・協力体制の充実を図り、自然の中での活動等を通じた社会貢献及び教育研究の発展に寄与することを目的に協定を締結しました。



### 私たちは子どもたちの自然体験活動を応援しています

国立妙高青少年自然の家では、以下の方々から当自然の家の活動に対し、多大なご寄付をいただきました。なお、ご寄付をいただいた場合は、サービス棟玄関ホールやホームページによりご報告させていただいております。協賛金・支援金を随時受付しておりますのでご支援ください。

#### ●協賛金・支援金（五十音順）

(有)アイビーオート、(有)内田紙店、(株)大谷ビジネス、岡本石油、(株)小川クラウン、頸南バス(株)、(株)謙信堂、高坂防災(株)、学校法人新潟総合学院国際アウトドア専門学校、信越ペブシコーラ販売(株)上越支店、新星建機工業(株)、新東産業(株)、(株)第一印刷所上越支店、(株)高館組、(有)デザインルームプラム、(株)桐朋、(有)永田印刷、(株)ニッコトラス、(株)パーツプロダクション、長谷川興業(株)、パナソニック(株)セミコンダクター社新井工場、早川雅雄、ホシザキ北信越(株)上越営業所、(株)丸山酒造場、三国コカ・コーラボトリング(株)上越支店、(株)妙高、妙高観光開発(株)妙高カントリークラブ、(株)ムラヨシ、(株)横瀬オーディオ、(株)渡辺リネン

#### ●助成金

(財) ヤマハ発動機スポーツ振興財団  
 助成事業名 スポーツチャレンジ助成  
 助成課題名 「チャレンジできる子どもを育てるための研究」～非日常の体験活動が子どもに及ぼす影響～

笹川スポーツ財団  
 助成事業名 S S Fスポーツエイド  
 助成課題名 「キャンプとお手伝いの旅」～やらされから自立へ～

(財) 河川環境管理財団  
 助成事業名 河川整備基金  
 助成課題名 妙高の自然環境を生かした水環境教育の質的向上と外部指導者の資質・指導力の向上を目指して

(財) カメイ社会教育振興財団  
 助成事業名 青少年の社会教育活動に対する助成  
 助成課題名 [妙高「生きる力」向上プロジェクト]  
 豊かな体験活動推進フォーラム～有機的な連携による長期宿泊体験活動の推進～

